

# Vtech A2210 ホテル電話機 ユーザーガイド

# 内容物一覧



電話機本体  
(フェースプレート、  
フェースプレート保護  
シート付属)



受話器  
(カールコード付属)



マウント台



モジュラー  
ケーブル

# 各部の名称



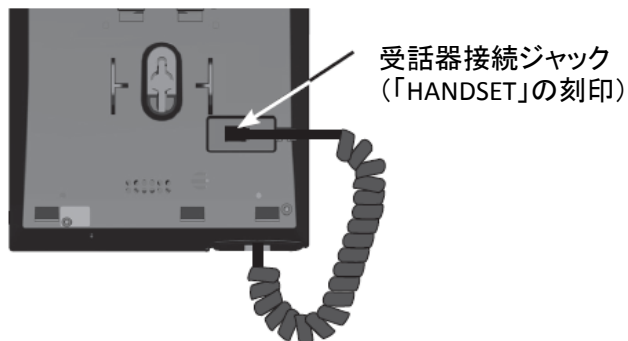
# 設置準備(1)

## 電話機本体の設定

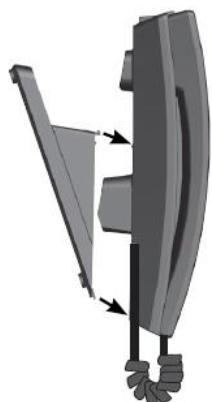
本電話機は卓上および標準的な電話壁掛け金具に設置することが出来ます。

### 卓上に設置する場合

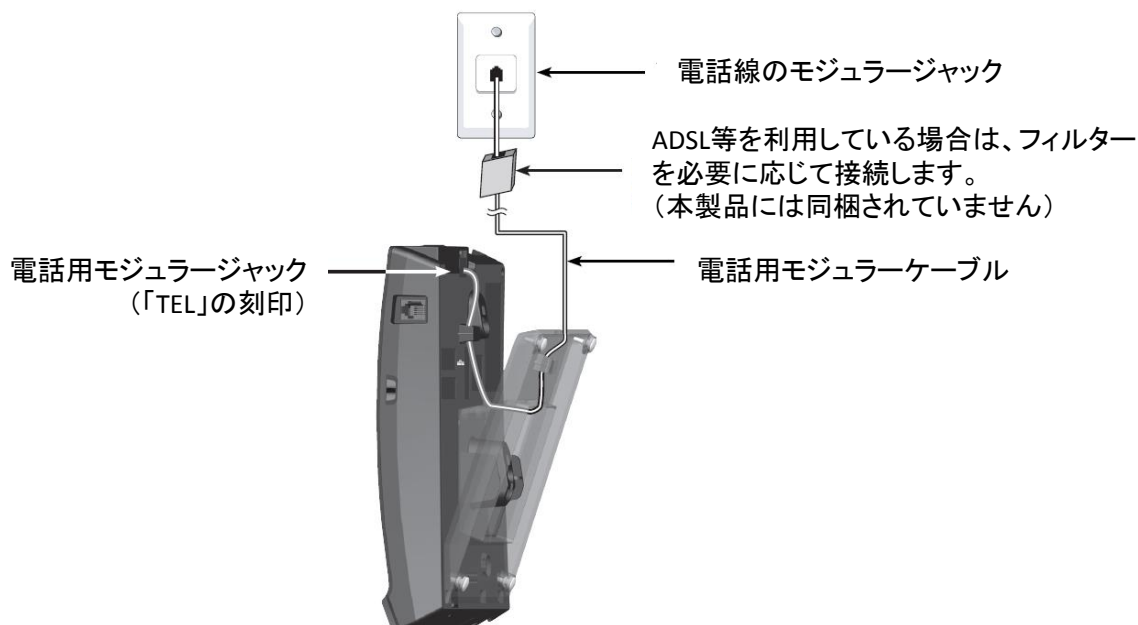
1. 電話機を裏返し、カールコードで受話器と本体を接続します。



2. マウント台のつまみを本体のくぼみに合わせてはめ込みます。(壁掛けの場合はマウント台を付けません)



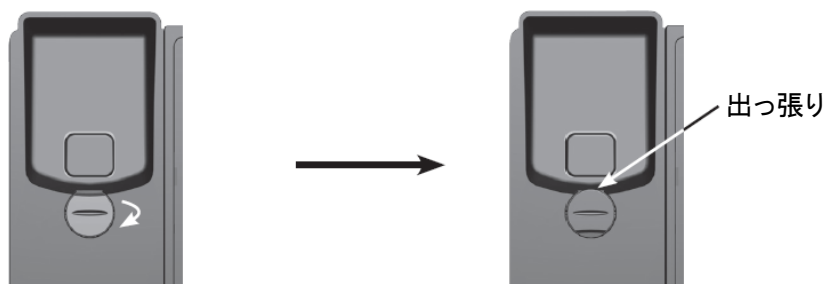
3. 電話機本体を下記の図のように接続します。



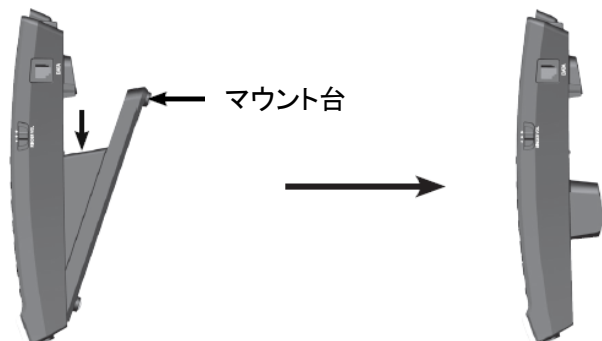
## 設置準備(2)

### 卓上設置から壁掛けへの変更

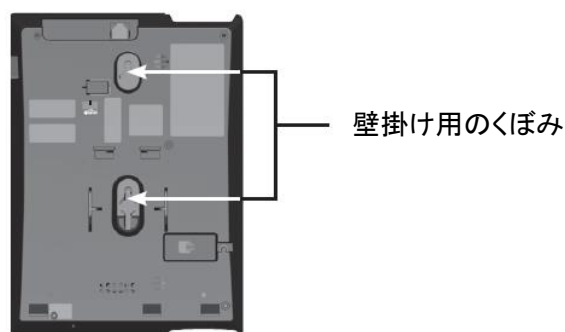
1. 受話器を電話機本体より外します。受話器を置く部分にある受話器ハンガーの切れ込みにコイン等を差し込み、180度回転させ、出っ張っている部分を電話機の上方向に合わせて固定します。  
この出っ張りが壁掛け時に受話器を支えます。



2. 電話機本体を裏返し、マウント台の上方にあるつまみを両方とも強く押しながら引っ張り、つまみを電話機本体のくぼみから外します。(マウント台を付けていない場合、本段階は不要です)



3. 電話機本体のくぼみと壁掛け用プレートの突起を合わせ、電話機が固定される位置までスライドさせます。



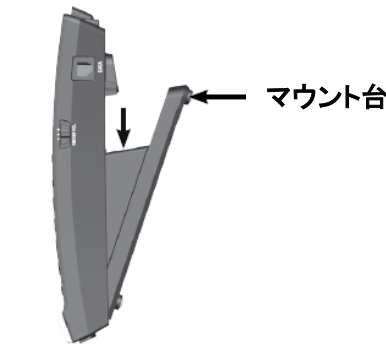
4. 受話器を電話機本体にかけます。

# 電話機の設定(1)

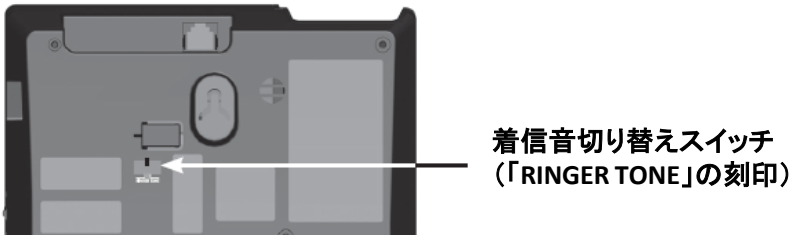
| 設定項目            | 内容  | 操作権限    |
|-----------------|---|---------|
| 通話音量            | 1から4の4段階(出荷時は2)   | 利用者、管理者 |
| スピーカーフォンの音量     | 1から8の8段階(出荷時は5)   | 利用者、管理者 |
| 着信音量            | 1から3の3段階  | 利用者、管理者 |
| 着信音の種類          | 着信音1、着信音2、着信音3<br>(出荷時は着信音1)  | 管理者     |
| フラッシュの瞬断時間      | 1(0.1秒)、2(0.3秒)、3(0.6秒)<br>(出荷時は3)  | 管理者     |
| ボイスメールの検知方式     | ボイスメール検知を使用しない、<br>周期的低電圧検知方式、<br>連続および周期的高電圧検知方式、の3種類<br>(出荷時は連続および周期的高電圧検知方式) | 管理者     |
| スピードダイヤルキーの登録番号 | 10個のキーに16桁までの電話番号もしくはPBXの機能呼び出し番号を設定可能  | 管理者     |

## 着信音の種類切り替え

1. 電話機本体を裏返し、マウント台の上方にあるつまみを両方とも強く押しながら引っ張り、つまみを電話機本体のくぼみから外すとマウント台が外れます。



2. ねじ回しのような細いものを利用して着信音切り替えスイッチをお好みの着信音の位置にスライドさせます。



3. 元のようにマウント台を取り付けます。

# 電話機の設定(2)

## フラッシュ瞬断時間の変更

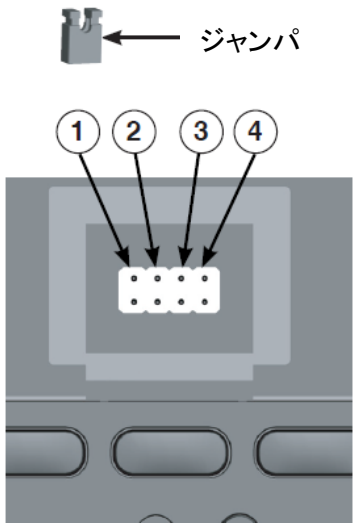
- 1. 電話機本体から、フェイスプレートと保護シートを取り外し、スピーカーキーを押すか、受話器を上げます。その後、プログラムボタンを押すと、ミュートキーが点滅し、管理者モードに入ります。
- 2. フラッシュキーを押すと3度ブザー音が鳴りますので、ダイヤルキーの、1(0.1秒)、2(0.3秒)、3(0.6秒)いずれかを押してフラッシュ瞬断時間を設定します。再度プログラムボタンを押すことで設定が確定し、3回ブザー音が鳴ります。

## ボイスメール検知方式の変更

- 1. 電話機本体から、フェイスプレートと保護シートを取り外し、さらに、設定用ジャンパカバーをはがします。
- 2. ねじ回しのような細いものを利用して、ジャンパピンを設定したい方式に合わせて下の表のように取り付けます。

| 検知方式            | ジャンパの設定        |
|-----------------|----------------|
| ボイスメール検知を使用しない  | 全てのジャンパを取り外します |
| 周期的低電圧検知方式      | ①②③            |
| 連続および周期的高電圧検知方式 | ①②④            |

- 3. 設定用ジャンパカバーを取り付けます。



## スピードダイヤルキー登録番号の変更

### 番号を登録する

- 1. 電話機本体から、フェイスプレートと保護シートを取り外し、スピーカーキーを押すか、受話器を上げます。その後、プログラムボタンを押すと、ミュートキーが点滅し、管理者モードに入ります。
- 2. 番号を設定したいスピードダイヤルキーを押すと、3回ブザー音が鳴ります。
- 3. 登録したい番号を入力します。(最大16桁)  
ポーズを入力する必要があるときはポーズボタンを利用します。
- 4. 16桁を入力するか、プログラムボタンを押すことで設定が確定し、ブザー音が3回鳴ります。

### 番号を消去する

- 1. 電話機本体から、フェイスプレートと保護シートを取り外し、スピーカーキーを押すか、受話器を上げます。その後、プログラムボタンを押すと、ミュートキーが点滅し、管理者モードに入ります。
- 2. 番号を消去したいスピードダイヤルキーを押すと、3回ブザー音が鳴ります。再度プログラムボタンを押すことで、番号消去が確定し、ふたたび3回ブザー音が鳴ります。

# 電話機の使い方(1)

## 受話器とスピーカーフォンについて

受話器での通話と電話機本体のスピーカーフォンでの通話を同時に行うことはできません。ただし、受話器とスピーカーフォンの通話はいつでも切り替えることが出来ます。

## 電話を受ける

電話がかかってくると、着信音が鳴り、メッセージウェイティング通知LEDが点滅します。

### 受話器で電話を受ける

受話器を電話機本体よりあげることで電話を受けます。

### スピーカーフォンで電話を受ける

電話機本体のスピーカーフォンキーを押すことで、キーが点灯し電話をスピーカーフォンモードで受けます。

## 電話をかける

受話器をあげる、もしくはスピーカーフォンキーを押すことで発信音が聞こえます。電話番号をダイヤルするか、スピードダイヤルキーを押すことで、電話を発信します。スピーカーフォン利用時はスピーカーフォンキーが点灯しています。

## 電話を切る

受話器を電話機本体に置くことで電話を切ります。スピーカーフォン利用時はスピーカーフォンキーを押すことで電話を切ります。

## 受話器での通話とスピーカーフォンの切り替え

受話器での通話からスピーカーフォンでの通話に切り替える場合、スピーカーフォンキーを押すことで通話が切り替わります。

スピーカーフォンから受話器での通話に切り替えたい場合で、受話器が電話機本体に置かれている場合は、受話器をあげることで通話が切り替わります。

スピーカーフォンから受話器での通話に切り替えたい場合で、受話器が電話機本体に置かれていない場合、スピーカーフォンボタンを押すことで通話が切り替わります。

## 通話の共有

通話中に同じ回線に接続されている電話の通話を共有することができます。

### 通話への参加

他の電話機が通話中に受話器をあげるかスピーカーフォンキーを押すことで通話に参加できます。

# 電話機の使い方(2)

## ボリュームの調節

通話音量と着信音量を調節することができます。

### 通話音量を調節する

通話中に前面の音量+/-キーを押すことで通話音量を調節できます。次の通話では標準設定に戻ります。

### 着信音量を調節する

側面の着信音量スイッチをスライドさせることで着信音量の調節ができます。

## コールウェイティング

1. 通話中にコールウェイティング音が聞こえた場合、フラッシュキーを押すことで現在の通話を保留にして、かかってきた通話を受けることができます。
2. フラッシュキーを押すか、素早くフックスイッチを押すことで、通話を切り替えることができます。

## ミュート(マイクのミュート)

1. 通話中にミュートキーを押すことで、ミュートキーが点灯し、ミュートモードに入ります。このモードでは、相手の声はあなたに聞こえますが、あなたの声は相手に聞こえません。
2. 再度ミュートキーを押すことでミュートキーが消灯してミュートモードが解除され、通話に戻ることが出来ます。

## 保留

保留中の通話がある場合、同じ回線に接続されている他の電話機で通話を受け取ることができます。

### 通話を保留にする

1. 通話中に保留キーを押すことで、通話を保留にします。保留中の通話がある場合、保留キーが点滅します。
2. 保留を解除するには、受話器をあげるか、スピーカーキー、もしくは保留キーを押します。

## データポート

モデムやFAXをデータポートに接続することができます。